連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

相場回復時こそ「資金効率」を意識すべき！

先週水曜日引け後に行われていた国会党首討論で野田首相が16日の解散可能性を示唆。政治問題進展による金融緩和期待が高まり、為替相場が円安方向に大きく振れるとともに株式相場も活況を呈している。

その後も安倍自民党総裁の金融政策に対する積極発言や金曜日の衆院解散時にも出尽くしの円買いは見られず、円安基調は継続。1ドル81円台回復は今年4月以来となり、当時の日経平均株価は9500円台にあったことを踏まえると、まだまだ評価余地が感じられる水準だ。このまま為替相場の推移を見極めつつ、相場の戻りに付くスタンスで臨みたいところ。

物色傾向も株価指数とともに売り込まれていた中核銘柄の復調が目立ち、円安メリットが見込める輸出関連から裾野が広がってきている。しかし好地合いだからと闇雲に物色対象を広げると投資収益は安定しない。ここは手掛けやすい低売買価額銘柄を対象に利益確定を繰り返し、売買回転による複利効果の見込める「資金効率」を意識すべきだ。

そこで弊社では、資金効率の良い「20万円以下」の銘柄を対象とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売した。過去4回提供し、4回連続で提供5銘柄がすべて目標株価となる10％上昇率を達成した実績テーマだ。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせてほしい。